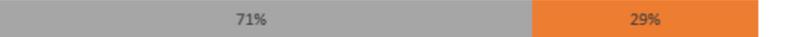


■ はい ■ どちらでもない ■ いいえ

チェック項目		職員各自の自己評価	改善目標、工夫している点など
1 環境・体制整備	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年令の高い利用者さんが大勢いる時など狭く感じる。</li> <li>・ 自閉症の子もいるため個室がもう少し必要。 ・もう少し広ければと思います工夫しています。</li> <li>・ 子供たちも大きくなってきているのでプログラムで工夫が必要、座ってする風船バレーなど。</li> </ul> 	大きい子たちも満足できるプログラムを取り入れる。座ってする風船バレー、ポンポンダンス等。 団体が苦手な子のためにの個室の充実を図る
	職員の配置数は適切であるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1対1の時もあり丁寧だと思う。</li> <li>・ 子どもに対して職員がほどなくつけていると思う。</li> <li>・ 外出時イベントなどは通常より多めに配置している。 ・基準よりもよりプラス</li> </ul> 	子どもの安全を第一に考えるため、支援員の配置は多めにしている。
	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 段差部分をなくすためマットを敷いて解消している。</li> <li>・ 段差や表示などが工夫されている。 ・昨年度の評価をもとに改善している。</li> <li>・ 段差への工夫はしていますが、まだ不十分なところもあります。</li> <li>・ 洗面所への段差、玄関の段差、マットで工夫しているがまだ不十分かも。</li> <li>・ 玄関先の段差、室内の段差が気になります。</li> </ul> 	段差のところに危険がある標語カードを置いて注意して行きたいと思います。
2 業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標とふりかえりは全mtg.後にしておりますが、来年以こうには計画をしっかり立てていく予定。</li> <li>・ すまいるミーティングの回数をもち全体でのふりかえり毎日の反省会など行なっている。 ・どのような話し合いをしているかはわからない。</li> </ul> 	今年度はすまいるミーティングを月2回設け振り返り、改善、実行というサイクルが出来ております。また問題が出た時もこの形で進めて改善もしてきました。
	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎年評価表で出た意向を業ム改善へと結びつけてきました。</li> <li>・ 保護者の希望をできるだけ叶える工夫をしている。</li> <li>・ 保護者からのニーズをうけ改善ヶ所について、話合っている。</li> </ul> 	毎年、評価表で頂いたご意見は必ず、すぐに遅くても来年度には改善目標であげております。
	この自己評価の結果を、事業所の会報やHP等で公開しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HPで公開をし保ご者に郵送している。</li> <li>・ HPと郵送。 ・公開している。</li> <li>・ ご利用者様へは結果を送らせて頂きHPにもアップしてます。 ・わからない。</li> </ul> 	ホームページに公開している、利用者、スタッフにもプリントして渡している。
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ わからない。 ・話はあったがまだ行なっていない。</li> </ul> 	法人と相談の上、今後どうするかを検討中。

8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修へ行った際は他職員に研修の内容周知を月一回確保し行なった。</li> <li>・法人研修が月一回、すまいる内での研修もあり外部の研修にも参加。</li> <li>・研修を受けてきたスタッフが他のスタッフに説明してくれる。</li> <li>・常勤が参加した研修内容を他職員に伝えてくれていると思います。</li> <li>・研修を年にさいてい1回以上は参加してもらっている。</li> </ul>	外部研修機会をスタッフ年1回以上確保。法人研修、月1回、事業所内で研修に行った支援員が中心となって勉強会を実施。
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントをmtgなどで把握し、計画に反映させている。</li> <li>・利用者のニーズをうけての方向性がさらにスタッフに伝わるようになると思います。</li> <li>・支援計画をもとに行い、モニタリングで見直しを行っている。</li> </ul>	常勤内で月2回ミーティングを行い、利用者のニーズを分析し、問題点や対策を話し合っています。月1回のスタッフ全員で参加している。
10	子どもの適切行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	フェイスシートをもとに行っている。 	ICFを取り入れたアセスメントツールを31年度から検討しています。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤も考え、工夫している。</li> <li>・ティーチプログラム、外部の講師など保ご者のニュース子供達の様子をみて立案している。</li> <li>・30年度からフロアリーダー配置</li> </ul>	30年度からフロアリーダーを配置し常勤、非常勤でそれぞれ取り入れている。保護者、ご利用者のニーズを聞き取り立案している。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固定化しないようにスタッフがいろいろと工夫してくれていると思う。</li> <li>・外部の講師以外の日は毎日、毎月と固定しない様に工夫している。</li> <li>・全員プログラム。</li> <li>・年れい別に同じことでもルールを変えている。</li> </ul>	外部の講師は曜日固定になっているが毎日・毎月固定しないように工夫している。また、年齢別に同じことでもルールを変えてなるべく同じプログラムに全員参加出来るようにしている。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日はティーチとその日のプログラム。長期は平日の流れに外出を足す等している。</li> <li>・長期休みのプログラム等充実していると感じる。</li> <li>・細やかに設定していると思います。</li> </ul>	ティーチで個別・プログラムの集団と組み合わせている。休日、長期休暇には、普段出来ないおでかけ、調理、プール、体験などをその利用者あわせて設定している。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ティーチでの個別、プログラムでの集団と1日の中で組合わせている。</li> <li>・個別活動はティーチ集団行動はプログラム。</li> <li>・個別性もありますが組み合わせで作成している。</li> <li>・個別と集団のプログラムがありメリハリがあると思う、集団参加が難しい時の対応法が別にあってもいいかと思います。</li> </ul>	保護者のニーズを聞き取りし、支援計画に個別、集団対応のものを組み合わせて支援目標を設定している。
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日のプログラムの流れを話して皆でかくにんしてる。</li> <li>・バタバタしてしまう時もあるのでその日の役わり分担が一目でわかるよう工夫をしていきたい。</li> </ul>	その日の流れを確認しているが、流れを1日でわかるように今年度は工夫していきたい

適切な支援の提供

16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特記事項は全員で共有をしている。</li> <li>・ティーチプログラムのふりかえりはノートに記入している、反省会での意見交換共有も行っている。・毎回ではない。</li> </ul>	この日にあった気づいた点で注意が必要なものは、特記事項として支援員全員で共有確認を行う。 反省会でも意見交換を行うこともある。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の記録は徹底し検証改善へつなげて計画に反映させる。</li> <li>・記録を日々とっている。</li> <li>・ティーチでの記録記入、サービス提供での記録をとっている。</li> </ul>	個別に記録を録っている。緊急性のものについては、すぐに検討・見直し支援の徹底を行うがモニタリング・評価時に改善等をあげ、保護者に共有と確認をしてもらう。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回のモニタリングを行っている。・長くても半年に1回は行う。</li> </ul>	よりよい支援をつなげるため年1回以上、モニタリングができる様していく。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援をおこなっているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインの総則を皆で確認しあうmtg.をもうける。</li> <li>・ガイドラインを基本に行っている。・わからない。</li> </ul>	ガイドラインは配布し、ミーティングで読み合わせ、支援の確認をしている。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通して最もふさわしい者が参画しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当リーダーが行っている。・リーダーが参画。・わからない。</li> </ul>	利用者担当リーダーが参画をしている。またその後全員で共有できるミーティングも設けている。
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換・子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時対応、トラブル発生時の連絡）を適切におこなっているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎が始まり学校との情報共有を図った、また、絵画展でもお世話になった。</li> <li>・保護者との連携は密である。</li> <li>・学校のHPでのかくにん保ご者からのプリントを確認している。</li> <li>・学校の先生とも情報共有を定期的に全員が行える様今年は計画をする。</li> </ul>	30年度は学校との情報共有が出来た学校もあった。 学校との連携は31年度も積極的に行っていく。また学校のホームページや保護者から情報を密に取り、情報共有をしている。トラブルにはフローチャート通りに行っている。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二人おりますが、主治医との連絡体制をフローチャート式に整えていく</li> <li>・参加しているが、医療的ケアをしていないため主治医との連絡はとっていないがフェイスシートで主治医は把握している</li> <li>・主治医ではなく保護者様と連携をとっている</li> </ul>	保護者からは緊急的対応のフローチャートは作成済み。主治医との連絡体制を31年度は整えていく。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発とは情報共有ができていないが、保育所や幼稚園などは、まだ共有ができていない</li> <li>・児童発達支援所とは共有できている・親の会へ参加した</li> </ul>	児童発達支援事業所とは情報共有はしている。 親の会に参加し、相互理解に努めた。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性がある場合は情報は共有をしている</li> <li>・問い合わせには対応する</li> </ul>	卒業した利用者の連絡先と情報を共有を求められた時に提供をしている。

関係機関や保護者と

の 連 携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に参加している</li> </ul>	今現在必要している研修は積極的に参加している。
	26	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後必要性があるのか・EFCでの学生やスタッフの子どもとの交流はある</li> <li>・月に1度の合同事業で障害のない子どもと活動する機会、学生ボランティアと活動機会がある</li> </ul>	障害のない子供との活動する機会は今後必要であれば検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	必ず参加している	今年度参加させて頂きました。今後も積極的に参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス提供用紙にて子どもの様子を記入し保護者と連絡し合っている</li> </ul>	サービス提供記録に様子を記入。または、直接連携を取り合うこともありました。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		保護者からの相談にしっかり向き合い支援をしているが、ペアトレーニングは、31年度の検討課題にしていく。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約時に行っている</li> </ul>	契約時、また変更時にはきちんと説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の相談にはのっている。必要に応じてスタッフで共有している。</li> <li>・相談を受けたら必要な助言と支援を行っていると思います。</li> </ul>	相談は適宜対応している。今後も必要な時には行っていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	今年度は、年度末に行います・親同士の交流の機会がある	毎年、親子交流会を行っている。今年度は春休みに実施予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切な対応しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情等の窓口はあり、すぐ対応している</li> </ul>	保護者には契約時に周知、苦情に対しても相談窓口を設け対応をしている。子供に対する苦情にも、話があった時、また利用者が困っている時はすぐに対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に発信しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すまいる通信を毎月発行している</li> <li>・月に1度のお便り、ネットへのUP写真販売等行っている</li> <li>・保護者が見てくれない場合もある</li> </ul>	毎月、すまいる通信を発行し、活動の様子を掲載し、連絡体制を確認している。
35	個人情報に十分注意しているか	法人での確認シートを活用、研修なども行い注意している	個人情報は漏えいしない様研修を法人で行っている。	

36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	サービス提供用紙にてやり取りをしている 	利用者に情報伝達が平等に行くために絵カード・言葉を大きくするなど配慮している。保護者とはサービス提供記録で、情報伝達が出来るようになっている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	法人で絵画展を行い、地域住民、関係機関を招待する機会があった ・地域の講師の方々に来てもらっている 	法人開催の絵画展に地域住民や関係機関の方々を招待した。また、すまいるの利用者も絵画展へ見学に行った。
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	作成しているマニュアルを見直し、作成中 	今年度、新しいもの作成中である。出来上がり次第 職員、保護者へ配布する。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	伝言ダイヤルのききとり、第一避難所、広域避難所までの避難訓練、おんぶラック使用訓練を行っている 	保護者に伝言ダイヤルの聞き取りを年2回実施した。利用者には第一避難所、広域避難所までの避難所までの避難訓練を行った。
40	虐待を防止するため、職員の研修会を確保する等、適切な対応をしているか	・法人研修、すまいる内研修にて話をしている・年に数回行っている・全体ミーティング等で非常勤職員にも情報共有できていると思います 	法人研修を年1回実施。また東京都の虐待の研修に参加
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	身体拘束を行った事は無いが、事前の話合いは必要だと考えている 	昨年同様、現在対象利用者がいないが、必要な場合は障害者虐待防止法に基づき保護者に拘束の事前説明、署名と捺印、理解したうえで進めていく。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	・エピペンの使用・おもちゃ管理等 ・医師からの指示書は無いが、保護者からのききとり、フェイスシートを活用 	基本は、保護者から情報で把握を行う。30年度はエピペン使用の研修を行った。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	・共有はされていない・今後、作成していきたい ・法人内での安全委員会へ報告・共有しているが、事例集は作成していない 	法人の安全委員会で作成。すまいる内でも作成を検討中。

■ はい ■ どちらでもない ■ いいえ